

# 市民の皆さんとユニバーサルデザインについて考えました。 すべての人にやさしい建物ってなんだろう？



ユニバーサルデザインとは？  
性別や年齢、障がいの有無など、人の持つさまざまな個性や違いに関わらず、誰もが使いやすく、暮らしやすい社会の実現を目指す考え方で。

シンパシーからエンパシーへ  
今回のワークショップでは、異なる立場の人々が、お互いを理解し合い、意見の違いをいかに乗り越えられるかをテーマにしました。そこで、同じような意見、関心を持っている人に対する共感（シンパシー）ではなく、自分と違う価値観や理念を持っている人が何を考えるのか想像する力（エンパシー）を引き出すために「他者の靴カード」というものを用いました。「他者の靴カード」というものを用いました。「他者の靴カード」というものを用いました。誰かの立場になって考えること、つまりエンパシーを発揮した状態だと言えます。参加者は普段の自分の立場や考えだけでなく、カードに書かれた立場（子育て、高齢者、LGBTQ、障がい者など）から、新庁舎がどうあるべきかを3つのテーマに分かれて考えました。



新庁舎建設では、基本計画で定められた「すべての人にやさしいく分かりやすく、使いやすい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザイン観点から設計案の検討を進めてきました。これまで実施してきた団体ヒアリングに引き続き、全市民の皆さんを対象としたワークショップを開催。20代から70代まで、学生さんや子ども連れのお父さんなど、多様な立場の皆さんと、すべての人にやさしい建物について話し合いました。

#### 【実施概要】

とき：2022年5月29日（日）  
13:30~15:00  
ところ：市役所 庁議室  
参加者：11名

#### 【意見収集方法】

3つのグループに分かれ、小テーマ毎にディスカッションを2回実施しました。2回目には「他者の靴カード」を用いて、いつもとは少し異なる視点から、ユニバーサルデザインへの理解を深めました。



富田林市  
新庁舎建設  
プロジェクト

# A

## 移動関係（駐車場、通路、エレベーターなど）

駐車場については「見通しをよくして、歩行者と（車）の接触を回避する」「車寄せの安全対策が大丈夫か」といったものから、入口から遠い場所に止めるとポイントがもらえるなど運用面でのユニークなアイデアが出てきました。敷地内の通路は「床面に行先をラインで表示する」「雨の日にも滑りにくい素材にする」などの機能的な意見に加え、「敷地東側の小学校との間の通りを明るく」し、敷地内を「子どもの安全な通り道にする」という提案も。さらには駐輪場やサイクルポートなどを設けて、車に頼らないウォークアブルな街を目指すという議論も生まれました。



# B

## サービス関係（カウンター、待合スペース、相談室、共用部）

新しい窓口カウンターは、見通しのよい対面式が採用される予定ですが、「カウンター越しに対面すると緊張する」ので横並びや「カウンター以外にもパソコンなどを持って行って手続きできるようなればよい」などの意見がありました。また市民交流スペースについても「企業チャレンジができる」「芸大生が先生になる美術教育」などの活用についてのアイデアもありました。





# C

## 設備関係

### (トイレや授乳室など)

「男性も気兼ねなく入れる授乳室が必要」という意見や、授乳中ではなくても「汗をかいた服を着替えたりできる場所があったらいい」などの意見がありました。また手話通訳の充実や、外国人にもわかりやすいピクトサインの採用など「他人の靴カード」のおかげで、さまざまな立場の方を想像してのアイデアが生まれました。



「左上より時計回りに」テーマに沿ってアイデアや意見を書き出す／ワークシヨップで使った「他人の靴カード」／検討中の図面を使いながら議論を進める

たくさんのご意見、ご提案  
 ありがとうございます。  
 ご意見を踏まえ、より良い  
 市役所の実現に取り組んで  
 いきます。



富田林市  
 新庁舎建設  
 プロジェクト

富田林市本庁舎は、耐震性能の不足や設備の老朽化等、様々な問題を抱えています。平成28年4月に発生した熊本地震では庁舎が被災し、行政機能に支障をきたす事態になったことから、本市では平成29年度に行いました市庁舎耐震化構想業務において市庁舎耐震調査を実施し、これをまとめた「富田林市庁舎耐震調査業務調査報告書」で庁舎北館の耐震性能が確保されていないことを再確認しました。

これらの課題の改善策を検討するため、平成30年度に「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議」を設置し、「富田林市庁舎耐震化庁内検討会議報告書」をまとめました。さらに、令和2年度には耐震化を含めた新庁舎建設の基本計画となる「富田林市庁舎整備基本計画」を策定し、現在は新庁舎の設計に取り組んでおります。